

ごみ減量啓発活動 開催報告

整理番号: 20221126

イベント名	令和4年度 浜松市消費生活展
実施内容	
活動日時	2022年11月26(土)10:00~15:00・27日(日)10:00~13:00
活動場所	プレ葉ウォーク浜北 2Fセンターコート・ブリッジ
活動者名	村河、高根
詳細	ごみ減量取り組みとして今回は、企画運営を行っている「紙容器リサイクル」事業を紹介。SDGs12行動「つくる責任 つかう責任」の「つかう責任」を”自分ごと”として行動できる事業スキームの紹介と環境マークの正しい理解を啓発する。 また、本事業を今後広く啓発するための工夫などを参加者の皆さんの知恵をお聞きする場として「アンケート」を実施しました。新しい啓発グッズ「ミニ手帳」を回答者に配布しました。

事業の様子と成果	<p>参加者59名 アンケート回答者29名 配布物:パンフレット28枚,手提げ袋27枚,ミニ手帳31冊 ＜来場者の様子・声＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境マークの「紙」の商品は、全て浜松市の雑がみとして協働センターに出しています。(3名)雑がみの定義を説明すると、「知らない」「紙のマークの説明が間違ってるのでは」と言った意見がありました。 ・紙容器を出したいが、浜北区・北区には出す場所がない。→常葉大学浜松キャンパスでの回収を紹介 ・子ども達が「自分ごと」として環境問題に取り組める、市内の高校や大学・専門学校などに回収箱を設置することなどをしたらどうか？ ・紙容器リサイクル事業を知ってからプラスチック容器のヨーグルトを止めて紙容器を集めています。が、回収場所が近づくにつれて困っています。 ・紙容器のリサイクル量に応じた紙用品を配布を希望。ご褒美を貰うことで回収意欲が増すと思う。 <p>★アンケート結果 回答者29名(10代 1名、20代 1名、30代 5名、40代 6名、60代 6名、70代以上 9名、未回答1名) 居住区:南区 3名、中区 2名、北区 6名、東区 2名、浜北区 14名、市外 2名 Q1.環境マークを知ってる？ ①知っている 59%、②見たことがある 28%、③見たことはあるが意味は知らない 0% ④知らない 14% Q2-1 紙容器リサイクル事業を知ってる？ ①知ってる 48% ②知らない 14% ③今回知った 38% Q2-2 紙容器がリサイクル事業に協力できますか？ ①協力したい 93% ②分からない 7% ③協力できない 0% Q2-3 どのような広報が必要だとおもいますか？(複数回答) SNS 11件、広報はままつ掲載 13件、ホームページ掲載 9件、イベント・新聞告知 各7件 Q2-4 回数システムをどのようにしたら協力できますか？(複数回答) スーパー等の店頭回収 19名、協働センター等で回収 15名、定期的なごみ回収 9名 Q3-1 3Rを知っていますか？ ①知っている 36% ②名前だけ 24% ③今日知った 35% Q3-2 家庭ごみ減量に向け今後、実践していただけることは？(複数回答) 水切り 24名、残さず食べる 23名、紙パックリサイクル 23名、「洋服」「おもちゃ」などを譲る 14名、環境マークを見て分別 12名、紙容器リサイクル 11名</p> <p>意見や要望</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校でいらなくなったプリン類をリサイクルできるようにする。 ・紙容器の回収を増やして欲しい。 ・紙容器リサイクルに協力したいと思いました。 ・家族みんなで協力してリサイクルにつとめる。 ・未来のために協力したい。
----------	--

記録添付

